

Sturm

シュトゥルム

ニュースレター第 2 号をお届けします！

暑かった夏もようやく過ぎ、吹く風に秋を感じる頃となりました。この夏 TRAUBEN は、初めての親睦会とコンサートを開催！ご参加頂いた皆様とともに、楽しい思い出を作ることができ、伊都さんも、たくさんの感謝を胸に、ウィーンへと戻って行かれました。Sturm 第 2 号では、様々な夏のシーンをご紹介します。



ドイツの新聞に載りました！

この写真は、今年の 6 月 11 日、ドイツのベルリン郊外の病院のホールにて、コンサートを行なったときのものです。実はこのコンサート、その病院のホール(シャンデリアと壁に描かれた絵が素敵な素晴らしいホールです)にドイツで有名なピアノ会社のフルコン(コンサートピアノの中で一番大きなものです)が入ったお披露目コンサートだったため、記事はピアノがメイン・・・と新聞社の人に聞いていたのですが、次の日の芸術面トップに私の写真がこんなに大きく載ってびっくり、どうやらとても好評だったようです。

そういうわけで、記事の中身は残念ながら新しく買ったピアノ

のことばかり、それでも私の演奏を本当に素晴らしいと書いていただけました！ドイツではこの他のコンサートも大好評、写真なしですが素晴らしい批評を書いていただきました。今年はおと、9 月にイタリアにてオーケストラと、12 月に恒例の横浜みなとみらいでのリサイタルがあります。気持ちを引き締めて、頑張ります！

【伊都】

*** 9 月の予定 *** イタリア演奏旅行にソリストとして参加。ストリングオーケストラと、ヴィヴァルディの「四季」から“夏”と“秋”、バッハの 2 台のヴァイオリンのためのコンチェルト、を演奏します。

- 21 日 Verona(ヴェローナ) 22 日 Mantova(マントヴァ)
 - 24 日 Padova(パドヴァ) 25 日 Cremona(クレモナ・ヴァイオリンのふるさとです！)
- 計 5 回のコンサート

TRAUBEN 発足記念ミニパーティー

7 月 26 日、山手の洋館「山手 234 番館」にて、初めての親睦会として、発足記念ミニパーティーが開催されました。後援会の会員とごご家族、ご友人約 30 名が参加、初めての顔合わせに、ようやく後援会発足の実感が湧きました。

まず、発足を祝って葡萄ジュースやワイン(もちろんオーストリア産！)で乾杯。そのあとは伊都さんの挨拶や演奏、質問タイムなど、コンサートでは見えない彼女の素顔に触れたり、会員同士がおしゃべりしたり、あっという間に楽しい時間は過ぎ・・・

最後には皆さんのリクエストに応じて伊都さんが演奏する場面もあり、至近距離で迫力のヴァイオリンを聴く貴重なチャンスになりました。



自宅のリビングルームのようにつるいだ雰囲気



ザットルテなど、スタッフ手作りのウィーンのケーキが一番人気でした

満席御礼！TRAUBEN主催初コンサート



8月17日、横浜イギリス館において、「Wiener Wind」というタイトルで、後援会初主催のコンサートが開かれました。60席の座席は予約開始後、2週間で満席となり、うれしい悲鳴ではありましたが、お聴き頂けなかった皆様、本当に申し訳ありませんでした。

曲目は、バッハの「シャコンヌ」など、聴き応えのある難曲や、ガーシュインのオペラ「ポギーとベス」といったジャズの香りのお洒落なクラシックまで、相変わらず、魂を揺さぶるような迫力ある演奏で、私たちを楽しませてくれました。

ピアニストは、5年前の第一回リサイタルで伴奏をお願いした、柳澤ひかるさん。あいにく小雨まじりのお天気でしたが、真夏の夜、ウィーンに住む若い美女二人の演奏は、まさにドナウを渡る爽やかな風のように、横浜の港を吹き抜けました。

次回帰国時のスケジュール

- 12月17日 横浜みなとみらいホールにて第6回リサイタル。
1月3日～7日 横浜、日本大通近くにある「クリエイティブ・サポートセンター＝ザイム」にて、東京を拠点に活躍中の絵のアーティスト、新藤杏子さんと初の試み“絵と音楽のコラボレーション”を開催。

op.2

いとちゃんのクラシック講座



ヴァイオリンという楽器はとても繊細な楽器です。人間の体も奇跡的な偶然によって、生きることができるそうですが、ヴァイオリンも同じく絶妙なバランスの上に成り立っています。たとえば、楽器の表板と裏板を中で支えている“魂柱”という、長さ2cm半径3mmにも満たない細い棒があるのですが、その位置、立ち方一つで、その楽器の音、音質がまったく変わってしまいます。場合によっては、立ち方が悪いことでほとんど音が出なくなってしまうこともあります。

また、“こま”という張った弦を支える部分の高さを変えることで、これも音質がだいぶ変化します。

他にも、あごをのせる“あご当て”、肩に乗せるための“肩当て”の材質を変えるだけで、今まで苦労して出していた音色が簡単にできるようになったり、逆にちょっとした温度、湿度の変化で、簡単に音が曇って、まったく違う音質の楽器になってしまったり、本当にまるで一人の人間と付き合っているようです。

【伊都】

編集後記 夏の二つのイベントは、おかげさまで、とても楽しく、好評でした。ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました！応援して下さる皆さんに演奏を聴いて頂けることは、伊都さんにとって何よりの励みです。また、会を終えた後の皆さんの笑顔に、改めて、伊都さんの音楽のパワーを感じました。発足時31名だった後援会会員数も47名になり、心強い限りです。ところで、今号は「ホイリゲ」はお休みですが、イベントでグリューナーフェルトリーナーを試飲された皆さん、いかがでしたか？次号は赤ワインのご紹介です。お楽しみに♡

《ゆ》

発行：加納伊都後援会 TRAUBEN

〒231-0835 横浜市中区根岸加曾台15
TEL : 045-622-6780
FAX : 045-621-6423
Email : itoviolin-kouen@memoado.jp
Homepage : <http://www.ito-vn.jp/>